

【24 釈 文】吾妻郡岩井村差出帳（元禄十一年：一六九八）

（表紙）

持主 平治右衛門

元禄十一年

上野国我妻郡岩井村差出帳

寅ノ 八月 十兵衛

（中略）

一新田 無二御座一候 見取場

一新畑 無二御座一候 同断

一松木御林 三反五畝六步 壹箇所

一鉄炮 但シ壹挺ニ付永五拾（文、脱）宛 御運上差上、獵仕来 申候 五挺

一堰 無二御座一候

一御朱印地 無二御座一候 三拾式ヶ所

一除地 但、堂社森 是ハ前々より譜（普）請仕節ハ、

一川除 御扶持方被ニ下置一候、并ニ 人足余村よりも被ニ仰付一候 三箇所

一竹藪 是ハ御水帳ニ百性藪と御座候へ共 只今迄御年貢ハ差上不レ申候 四箇所

一御年貢林 百性林 八拾六ヶ所

此反別拾五町壹反六畝四步

一御城米 江戸廻之儀、当村より川井岸へ拾四里、内五里百性 附送仕、残九里分、壹里ニ鑿式拾四文宛被ニ下置一候、 川井岸より江戸迄舟賃、百俵ニ四表半宛被ニ下置一候

榛名山	厚田村	岩井村	泉沢村
一馬草薪山	川戸村	植栗村	新巻村
	金井村	小泉村	奥田村
			九ヶ村入相

右九ヶ村外、白井領五町田村・箱嶋村・岡崎新田村 以上拾式ヶ村入相之御証文写御座候御事

右之通、田畑壹畝壹歩之所者不レ及ニ申上一、 何ニ而茂郷分より前々御納方之儀、少茂 不ニ隱置一、委細書上仕候、若重而相違 之儀御座候ハ、名主・年寄何分之曲事ニも 可レ被ニ仰付一候、為ニ後日一仍如レ件

（後略）